

みずほCustomer Desk Report 2023/02/20号(As of 2023/02/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.40
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.07	1.0665	143.01	1.1971	0.6862
SYD-NY High	135.12	1.0698	143.67	1.2049	0.6884
SYD-NY Low	133.95	1.0613	142.94	1.1915	0.6812
NY 5:00 PM	134.15	1.0695	143.53	1.2043	0.6879
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,826.69	▲ 129.84	日本2年債	▲0.0400%	0.0100%
NASDAQ	11,787.27	▲ 68.56	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	4,079.09	▲ 11.32	米国2年債	4.6148%	▲0.0274%
日経平均	27,513.13	▲ 183.31	米国5年債	4.0265%	▲0.0472%
TOPIX	1,991.93	▲ 9.16	米国10年債	3.8158%	▲0.0461%
シカゴ日経先物	27,510.00	▲ 10.00	独10年債	2.4530%	▲0.0205%
ロンドンFT	8,004.36	▲ 8.17	英10年債	3.5070%	0.0090%
DAX	15,482.00	▲ 51.64	豪10年債	3.8290%	0.0670%
ハンセン指数	20,719.81	▲ 267.86	USDJPY 1M Vol	12.83%	▲0.16%
上海総合	3,224.02	▲ 25.01	USDJPY 3M Vol	12.32%	▲0.11%
NY金	1,850.20	▲ 1.60	USDJPY 6M Vol	11.61%	▲0.01%
WTI	76.55	▲ 2.19	USDJPY 1M 25RR	▲0.92%	Yen Call Over
CRB指数	267.57	▲ 2.68	EURJPY 3M Vol	11.62%	▲0.11%
ドルインデックス	103.86	0.01	EURJPY 6M Vol	11.30%	▲0.00%

東京	東京時間のドル円は134.07レベルでオープン。実需のドル買いもあってか、仲値にかけて上昇。その後も前日NY時間からの流れで米長期金利が3.9%近辺まで上昇する中、ドル買い優勢が継続。1月6日の高値を超え午後には134.81を付けたが、135円の節目を前に上値重く、134.74レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.74レベルでオープンし、全般的なドル高が継続。じりじりと上値を伸ばし一時135.12まで上昇。その後、ロンドン正午前に利益確定と見られるドル売りが入るとやや反落し、134.86レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。東京時間では実需のドル買いが入ったほか、米10年債利回りが約2か月ぶりの3.9%台回復にサポートされ、ドル買い優勢の流れが続いた。早朝には12月20日以来の水準となる135.12まで上昇し、134.86レベルでNYオープン。心理的節目の135円乗せを達成したことや、米国では連休を控えていることから、朝方から利益確定の売りが優勢の展開となり、134円台半ばまで反落。ロンドンフィクシングにかけて売りは一段と強まり、134.06まで下押しする。午後は週末ムードで動意乏しい中、134.20近辺で方向感なく推移し、結局、134.15レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。米金利上昇が重しとなり、じりじりと下落。早朝に1.0613をつけ、1.0623レベルでNYオープン。朝方は米金利が伸び悩んだほか、持ち高調整でユーロが買い戻され、海外時間の下落分を取り戻した。午後もしりじりと高値を更新し、終盤には1.0698をつけ、1.0695レベルでクローズ。

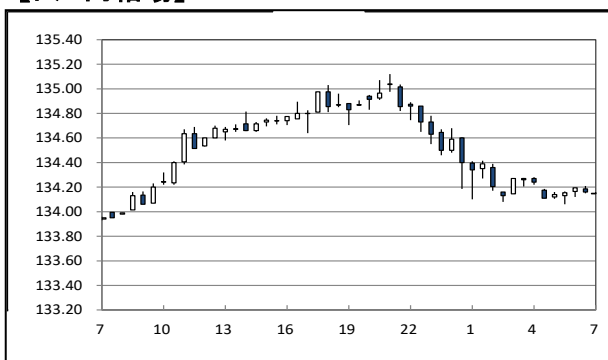
【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
2月17日	16:00	独	PPI(前月比/前年比)	1月 -1.0%/17.8%	-

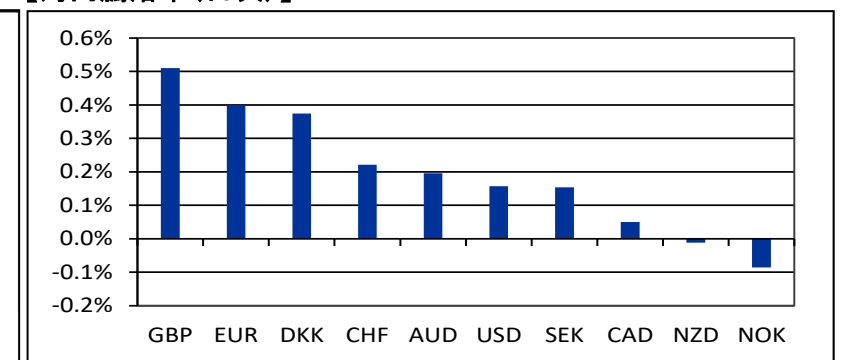
【本日の予定】

Date	Time	欧	Event	予想	前回
2月21日	00:00	欧	消費者信頼感・速報	2月 -19.0	-20.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.80-135.00	1.0640-1.0720	143.00-144.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は上下に往って来いの展開。アジア時間は、134円台前半でオープン後、米長期金利の高止まりからじりじりと値を上げる展開に。海外時間入り後も、上昇圧力は止まらず、一時135円水準を約2か月ぶりに突破する局面を見せた。一方、同水準からの勢いは乏しく、米国時間でのFRB高官からのハト派寄りの発言や、米国祝日前のポジション調整の動きも相俟って、急速に値を戻す展開となり、結局134円台前半レベルでのクローズとなった。

本日は、134円台での底堅い動きをメインに方向感に乏しい展開か。今週の米FOMC議事要旨の発表も控えており、本格的な動意付きは週央を想定しているが、本日は米国祝日ということもあり、一方方向での値動きには至らず、メインシナリオはレンジ推移を見込む。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・鈴木